

かんしや



10月号

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2021
Vol.194



たちばな信用金庫 様



市内各郵便局 様



フェスタ森山店 様

「あの人」を支えたい。困ったときはお互いさまだから。

赤い羽根共同募運動 10月1日キックオフ



諫早パークレーン 様



割烹すみれ 様



諫早市立図書館 様

※撮影時のみマスクを外しています。

このようなか、当支会では、皆さまがより募金に協力いただけるよう、広く募金箱の設置等に取り組んでいきたいと計画しております。
共同募金を目指す「つながりをたやさない社会づくり」のために更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日頃から共同募金運動につきましては、温かいご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まります。お寄せいただいた募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための活動の推進や、大規模な自然災害発生時のボランティア活動支援のために使わせていただいております。
殊に昨年からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人とのつながりを保つことが難しくなりつつあります。

ご挨拶

長崎県共同募金会 諫早市支会支会長
諫早市長 大久保 潔重



ありがとう

メッセージ

皆さまからいただいたお気持ちは、市内の事業所や社協の事業などを通じて役立てられています。

地域で暮らしていく自信に！

特定非営利活動法人 **かたつむりの家**
就労継続支援B型事業所



EM菌拡大培養装置(上)
EMポカシ、EM菌活性液(下)

赤い羽根共同募金の助成を受け、EM菌拡大培養装置を購入しました。

この装置を活用し、EMポカシやEM菌活性液を作製し、販売を行っています。機械があることにより、年間を通じて作ることができ、利用者の工賃アップにつながりました。このことは、利用者が地域でいきいきと暮らしていくうえでの自信につながり、生活の安定への一歩となります。

今後もこの装置を活用しながら、利用者のみなさんが、互いに助け合い、地域や社会の中で生活できるようサポートをしていきます。

募金の方法

あなたの気持ちを あなたのカタチで



寄付つき商品

一般企業や団体、福祉施設等に、寄付つき商品の購入を依頼しています。

新たにご協力していただける企業や団体を募集しております。

窓口 or 振込

本会までお気軽にお問合せください。



募金箱

市内の協力店に設置しています。



赤い羽根共同募金支援 自動販売機 設置協力者 募集！

飲み物を買って社会貢献！

飲み物を購入すると、その売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機を設置しませんか。既存の自販機を赤い羽根自販機に切り替えることもできます！

仕組みは？

設置者に販売手数料が入るとともに、一部が募金されるのが赤い羽根支援共同募金自動販売機の特徴です。自動販売機は無償、設置も無料、電気代のみご負担をお願いします。



奥野自動車整備工場 様

赤い羽根共同募金支援 募金箱 設置協力者 募集！

10月から12月までの運動期間に関わらず、年間を通じた募金箱の設置にご協力いただける店舗・施設等を募集しています。

設置、回収は本会がいたします。

いつでも気軽に募金できるまちづくりにぜひご協力ください。



丸高商事株式会社 様

諫早がさらに元気になってほしい！

自分たちにできることであればとまるたか全店舗でご協力いただいております。

自動販売機

見つけてね/
増崎建設株式会社(小川町)
奥野自動車整備工場(森山町)に設置してあります。

ヴィヴィくんバッジ

本会窓口で購入できます。
※数に限りがあります。



問い合わせ先 長崎県共同募金会諫早市支会 (諫早市社会福祉協議会内) TEL : 0957-24-5100

次世代へつなぐ想い

戦後、共同募金運動は「困ったときはお互いさま」の気持ちから始まりました。

そして今、私たちは災害やコロナ禍によって当たり前だと思っていた生活が一変。より良い未来を築くために、私たちはどのようなことを心に留めていかなければならないのでしょうか。戦中・戦後混乱の時期を体験した当事者から、次世代へつなぐ想いを伝えます。

思いやりを持った毎日を



緒里勇三郎さん
(西郷町)

昭和15年、父親が出兵先の満州で負傷し帰還。5年程、療養した後、昭和20年に亡くなりました。まだ、38歳の若さでした。

当時、私は4歳でした。一家の大黒柱を失い、姉と自分、弟との3人を母親は育ててくれましたが、計り知れない苦労があったと思います。

戦後は、食料も思うようにならない時代でした。周りの人たちもみんなが貧困の中で、食料を探していました。

戦争は、自分の国も相手の国の人々も、必ずみんなが辛い思いをします。戦争は絶対に起こしてはなりません。争いを起こさないためには、日ごろから思いやりを持って相手に接することが大切。そうすれば、喧嘩やいじめも無くなります。特に子ども達には相手の立場に立つて考えられる人になって欲しいと思います。

となりの家族を大切に



大塚 梓さん
(小豆崎町)

父は家族思いの人でした。昭和14年陸軍軍医として入営し、私が7歳の頃にニューギニアで戦死したと聞いています。離れていても、戦地から毎日のように家族へ向けた手紙を綴ってくれていました。

原爆が投下されたのは小学2年生の夏休みでした。友達と木登りをしていると北西の空が真っ赤になっているのを目にしました。驚きのあまり、一目散に帰宅したのを覚えています。当時、看護師だった母は、負傷した人を運んでいたようです。

その後、母は家庭を養うために洋裁を習いに行き、家族を支えてくれました。

戦争で家庭を思う人がいなくなりました。戦争は家庭を壊してしまいます。家族は大切に、そしてとなりの家族を大切にしてください。色々な考え方があって当たり前。それは健全なことです。敬意をもって互いに認め合い、話し合える社会を切り開いていってください。

諫早市戦没者追悼式中止のお知らせ

先の大戦において戦没された御霊のご冥福を祈るとともに、恒久の平和を祈念するため、長崎県慰霊奉賛会諫早市支部では戦没者追悼式を例年開催しています。

しかし、本年度は新型コロナウイルスの感染防止及び参列者の安全面を考慮し、誠に残念ではございますが中止することといたしました。ご遺族をはじめ関係各位におかれましては、ご理解を頂きますようお願いいたします。

今後も引き続き、先の大戦の記憶を風化させることのないよう、戦争の悲惨さを次世代に継承し、恒久平和の実現に取り組んでまいります。



令和3年度長崎県戦没者慰霊奉賛金実績報告とご協力お礼

募金額 1,821,972円

(令和3年8月31日時点)

自治会(町内会)を通してお寄せいただきました。皆さまのご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

なお、寄せられた奉賛金は、長崎県慰霊奉賛会が行なう戦没者追悼事業などに活用されます。

7月27日(火)、市内20地区の地校区社協会長・事務局長が一堂に会しました。地域福祉に参加する新たな人材の確保、生活支援ボランティア活動への取り組みなどの課題を共有しました。

市内で行われているコロナ禍における地域の見守り活動の紹介もありましたので、ふれあいいきいきサロンの活動を例に、普段行われている活動にひと工夫を加えた人と人とのつながりを深める活動を紹介します。

キラリ☆と光る取り組み

【活動事例1】

絵手紙や塗り絵を通じた交流

～森山町田尻「干拓いきいきサロン」～

「干拓いきいきサロン」では、新型コロナウイルス感染症対策のため昨年4月、5月の活動を休止。休止期間中に、利用者とボランティアとのつながりを保つため、ボランティアから利用者へ絵手紙を送り、手作りマスクや塗り絵を配りました。



ここがー工夫！

塗り絵を配る際は、色鉛筆も併せて配布。活動の再開時に、各利用者が作成した塗り絵を持ち寄って鑑賞し、再会した喜びを分かち合いました。世界に一つだけの塗り絵は額に入れられ、利用者の自宅に飾られています。サロンを再開した今でも、自宅でできる活動として続けられています。



思い思いに描かれた塗り絵

【活動事例2】

サロン利用者と施設入所者との交流

～高来町汲水「山道よつば会」～

「山道よつば会」では、今年7月に、清和福祉会みらいホームの職員と利用者を招き、新聞紙を使った紙袋の作成を通じた交流を行いました。



ここがー工夫！

この活動のきっかけは、同サロンのボランティアが、レクリエーションとして、同施設に紙袋作製の指導を相談したこと。

同施設の入居者の中には、高来町出身の方もおり、サロン利用者との久しぶりの再会に話が咲きました。山道サロンでは、指先の運動で今後も取り組んでいく予定。清和福祉会も地域の要望があれば出向き、紙袋作成の活動を伝えるとのこと。地域の社会資源を活用した取り組みとなっています。



新聞紙から紙袋に生まれ変わりました

ご寄付ありがとうございました

次の皆様から、心温まるご寄付をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和3年8月1日～令和3年8月31日受付分



▶山口 勝 様(多良見町)【亡父 義友 様】
▶八田 幸世 様(原口町)【亡夫 富士雄 様】



▶山口 史彦 様(永昌町)

～自分のために みんなのために～ 新型コロナウイルス感染予防の取り組み

マスクを着用
しましょう



うがいや手洗いを
念入りにしましょう



社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

10月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター (諫早市社会福祉会館内) 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談	開設日	10月22日(金) 司法書士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。



follow me



諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。